

高畠町公式マスコットキャラクター



たかつき

はたつき

令和2年度  
第2回高畠町景況調査結果  
(令和2年7月1日基準)

高畠町商工観光課

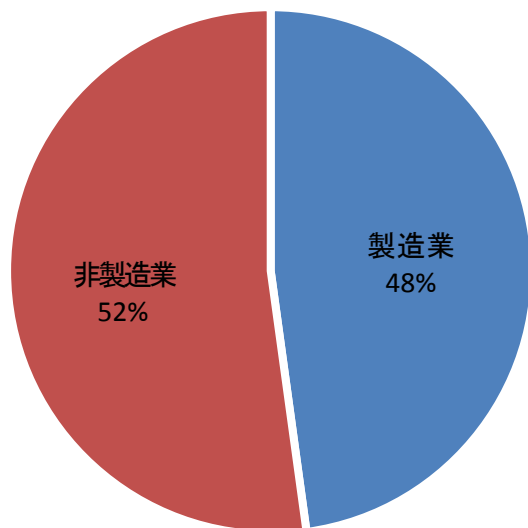


# 1. 調査概要及び回収結果

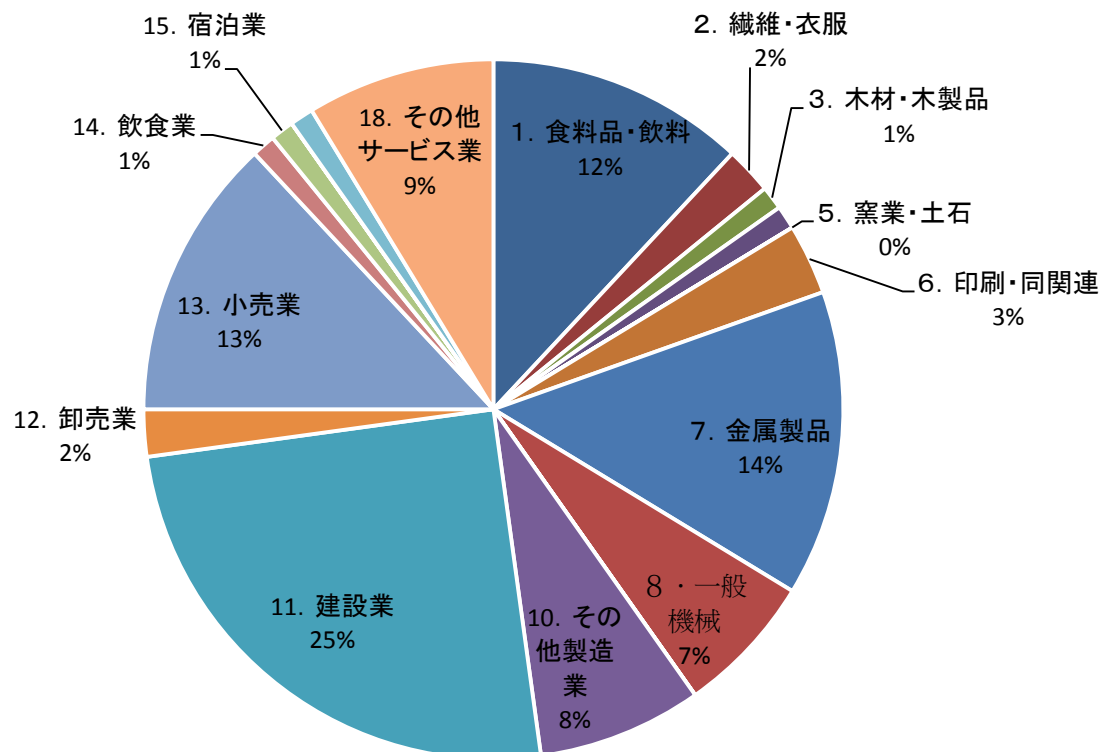
1. 調査の目的      新型コロナウイルス感染症の流行により経済活動に深刻な影響が生じていることから、町内事業所の景気動向及び支援制度の活用状況を把握するための調査を緊急で実施し、結果を参考としながら経営支援のための方策を検討するもの。
  
2. 実施主体          高畠町、高畠町商工会
  
3. 調査設計          (1) 標 本 数 : 町内事業所(個人事業主も含む)177事業所  
(2) 調査方法 : 調査票の配布(郵送法)、回収(FAX及び持参)  
(3) 調査期間 : 令和2年6月30日～令和2年7月6日  
(4) 基 準 日 : 令和2年7月1日
  
4. 回収結果          92事業所(回収率52.0%) ※ 前回:63.5%
  
5. 採用指標          「景気動向指数D.I.(ディフュージョン・インデックス)」を採用  
実数値の上昇率を表すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを表す。  
本調査では、「増加(良い・上昇・過剰等)」と回答した事業所数の構成比から、「減少(悪い・低下・不足等)」と回答した事業所数の構成比を差し引いた値で算出している。

# <回答事業所内訳>

## 製造業非製造業別

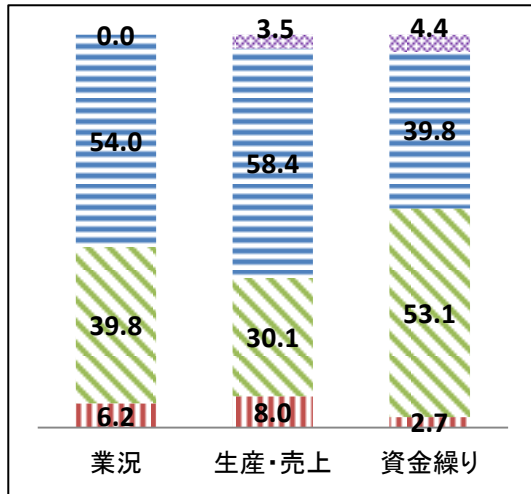


## 業種別

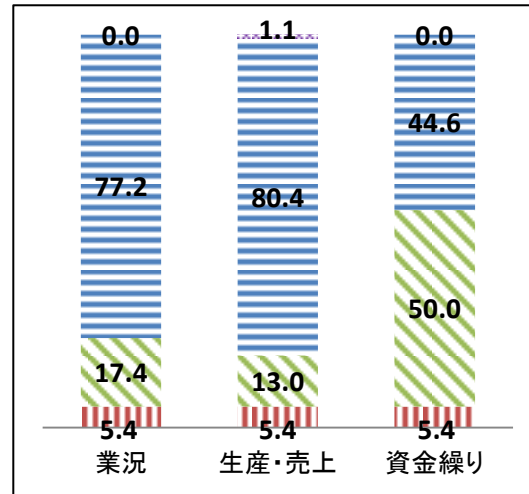


# 2. 各設問のデータ比較

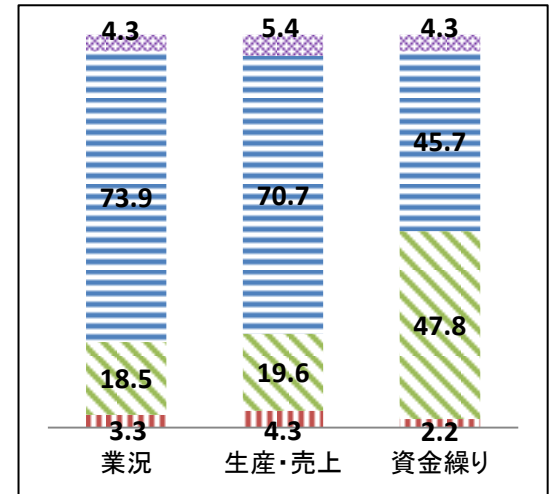
前期(令和元年12月～令和2年4月)



今期(令和2年5月～令和2年6月)



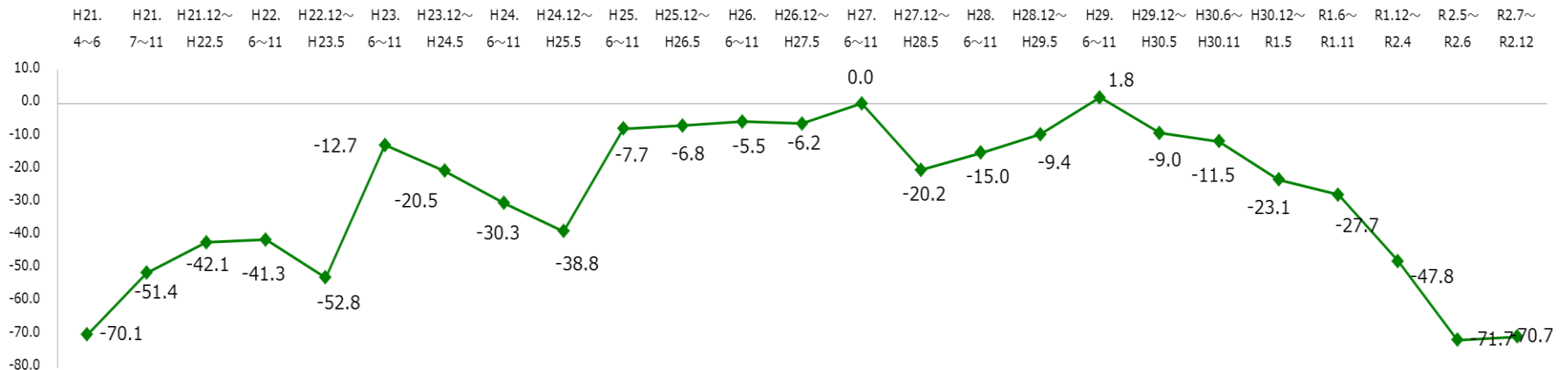
来期予測(令和2年7月～令和2年12月)



■ 良い ■ 普通 ■ 悪い ■ 無回答

(単位 %)

調査開始からの業況D.Iの推移

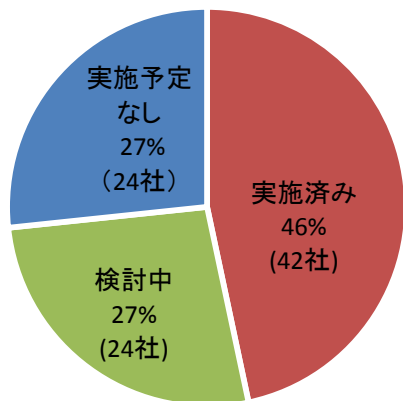


### 3. D.I.から見た景気予測

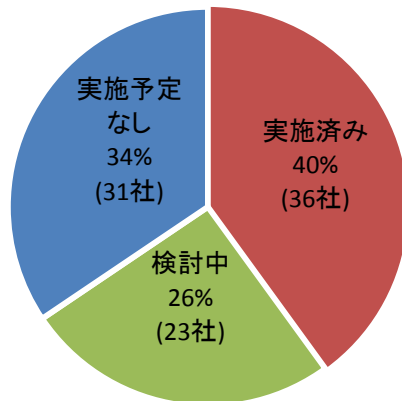
No.	調査項目	H21 4月~6月	H21 7月~11月	H21.12~ H22.5月	H22 6月~12月	H22.12~ H23.5月期	H23.6~ 11月期	H23.12~ H24.5月期	H24.6~ 11月期	H24.12~ H25.5月期	H25.6~ 11月期	H25.12~ H26.5月期	H26.6~ 26.11月期	H26.12~ H27.5月期	H27.6~ 27.11月期	H27.12~ H28.5月期	H28.6~ 28.11月期	H28.12~ H29.5月期	H29.6~ 29.11月期	H29.12~ H30.5月期	H30.6~ 30.11月期	H30.12~ R1.5月期	R1.6~ 11月期	R1.12~ R2.4月期	R2.5~ R2.6月期 実績	R2.7~ R2.12月期 予測
1	業況 「良い」-「悪い」の指数	▲70.1	▲51.4	▲42.1	▲41.3	▲52.8	▲12.7	▲20.5	▲30.3	▲38.8	▲7.7	▲6.8	▲5.5	▲6.2	0.0	▲20.2	▲15.0	▲9.4	1.8	▲9.0	▲11.5	▲23.1	▲27.7	▲47.8	▲71.7	▲70.7
3	生産・売上 「増加」-「減少」の指数	▲70.1	▲48.6	▲31.9	▲14.3	▲40.3	▲3.2	▲8.2	▲25.0	▲33.7	2.9	1.9	0.0	▲6.2	▲4.6	▲21.0	▲19.5	▲6.8	0.9	▲7.3	▲6.7	▲23.9	▲33.0	▲50.4	▲75.0	▲66.3
8	資金繰り 「好転」-「悪化」の指数	▲50.6	▲40.3	▲23.2	▲23.8	▲33.3	▲22.2	▲20.5	▲22.4	▲31.6	▲12.5	▲8.7	▲5.5	0.0	▲7.4	▲10.5	▲8.0	▲11.1	▲8.8	▲4.6	▲9.6	▲8.5	▲16.1	▲37.2	▲39.1	▲43.5

### 4. 新型コロナウイルス関連支援制度の活用状況

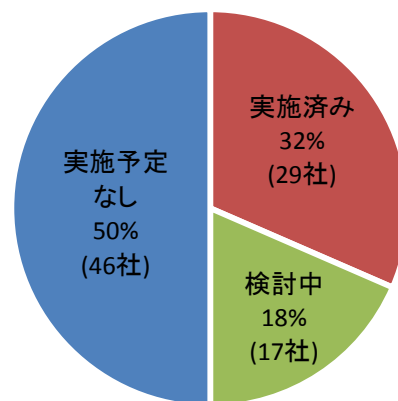
各種融資制度



持続化給付金



雇用調整助成金



雇用調整助成金申請済み事業者(29社)のうち  
社会保険労務士への業務委託を行った事業所数  
**9社**

委託率 **31.0%**

## 5. 景気動向(概要)

町内事業所の業況は、新型コロナウイルス感染症の影響により幅広い業種で顕著に売上が減少したことで急落し、調査開始以来最低の水準まで落ち込んでいる。

(1) 今期の景気動向について、「業況」は前期(▲47.8)から23.9ポイント減の▲71.7、「生産・売上」は前期(▲50.4)から24.6ポイント減の▲75.0となり、調査開始以来最低を記録した。「資金繰り」も回答者の40%以上が「悪い」としており、リーマンショック直後の平成21年度に迫る厳しい水準となった。

(2) 来期の予測について、生産・売上は今期から若干の回復を見込むが、厳しい経営環境が続くことで資金繰りは悪化すると見込まれている。  
景気の回復を期待する動きは小さく、業況は今期並みの低水準になると予測されている。感染終息の見通しが立たない中で、景気の悪化が長期間に及ぶと考えている事業者が多いとみられる。

## 6. 事業所・業界の動向、要望事項

1	高島町独自の給付金拡大
2	コロナ禍で厳しい状況にあるなかで、より多くの声を聞いて独自の支援等を継続して検討いただきたい。
3	賃貸側への支援
4	従業員の給与保障支援はありますが、代表役員家族の保障がなく給料未払生活に影響が出る。借入はしたもののいつまで続くのか不安だ。